杉並区立東田中学校だより　通巻 第２９９号　　令和２年３月１９日発行

第10号

ＷＡＫＡ　　ＧＩ

# 若　樹

**校訓：伸びていく　教育目標：自立力・社会力**

杉並区立東田中学校

東京都杉並区成田東３－１９－１７

電話：03－3313－1461　ＦＡＸ：03－3313－4704

## 「新たな門出にむけて」　　校長　杉田　正穂

３年生の皆さん、卒業おめでとうございます。本来なら３月初旬には上級学校への入試も終わり、それぞれの進路も決まって、将来への希望に満ちた楽しい学校生活を送っていたはずでした。新型コロナウィルスの感染拡大を防ぐため、３月２日からの臨時休業が急に決まり、仲間との楽しい会話や勉強が学校ではできなくなってしまいました。残りわずかな学校生活を楽しみにしていた人たちのことを考えると本当につらい決断でした。３月１９日には卒業式を縮小した形ではありますが、挙行します。心より皆さんの卒業を祝福したいと思っています。

９年前の平成２３年３月１１日に東日本大震災が発生した年も、ご来賓の方々が欠席される中、卒業式や入学式が挙行されました。それは皆さんが小学校に入学する直前の出来事でした。東京でも震度５弱の揺れがあり、交通機関やライフラインが大打撃をうけ、大混乱になりました。やはり、その時も学校生活を送るには支障があり、生徒の皆さんにいろいろな面で我慢をしてもらいました。東日本大震災では死者、行方不明者、関連死を含め２万２千人以上の方が犠牲となり、今なお、避難をされている方や不便な生活を強いられている方々は大勢いらっしゃいます。大地震による代償はあまりにも大きく、９年が経った今でも完全復興に至っていません。

今は感染拡大防止のため、我慢をしなければならない事態となり、悔しい思いもあるでしょうが、それよりもこの非常事態が早く収束するように、私たちは協力をしているという気持ちをもつことの方が大切だと思います。

寒い季節の終わりを告げるのかのように、桜の花は芽吹き、草花に確かな春の息吹きを感じることができる季節となりました。このように季節が移りゆく中、新しい人生に夢を膨らませて巣立っていく９９名の卒業生は東田中学校を卒業し、それぞれが選んだ進路へ向けて出発します。これからは、自分の足で歩み、自分で何かを掴み取っていかなければなりません。卒業したということは、新たな出発の門出でもあるわけです。力強く、夢や目標に向かって頑張ってください。

式辞でも送りました、河合純一さんの言葉を餞（はなむけ）の言葉とします。

Running After The Dreams
夢から逃げだすことは　いつでもできる
夢への努力を続けるのは　今しかない
夢を繋（つな）ぎ
そして　夢を追いかけていこう

［保護者の皆様へ］

令和元年度の教育活動が終わります。この一年ご協力いただき、心より感謝申し上げます。ありがとうございました。来年度も保護者の皆様のご支援をいただきながら、さらなる向上を目指して学校運営を進めてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

「人工芝のテニスコート」完成

テニス部はコートが約２ヶ月使用できず苦労しましたが、改修によりすばらしい「人工芝コート」になりました。

**道徳授業公開講座　２月８日（土）講師：紙芝居サークル「原っぱ」**
**「紙芝居をとおした読み聞かせによる人権講演会」**
**主題：主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること**
**「生命の尊さを理解し、かけがえのない自他の生命を尊重する」**

**＜作品あらすじ＞**

**１学年「さだ子の願い」**

脚本：宮崎二美枝　画：江口準次

幼い頃、広島で被爆し闘病の末、亡くなったさだ子のために、中学のクラスメートたちは千羽鶴を折り平和を訴える行動を起こす。

**「青の洞門」**脚本：堀尾青史　画：古谷野半二

原作は菊地寛「恩讐の彼方に」。大分県の山沿いを２１年かけて洞門を掘った禅海和尚の話。洞門は現在も残る。

**２学年「嘉代子ざくら」**

作：山本　典人　画：井口　文秀

長崎に住む高女４年生だった嘉代子は、勤労動員の最中に被爆し命を落とす。その日、休みたいと言った嘉代子を無理に行かせた自分のせいだと悲しみにしずむ母親は、校庭に嘉代子が好きだった桜の苗を植える。実話。

**「アハメドくんのいのちのリレー」**

作：鎌田　實　画：安藤　俊彦

イスラエルとパレスチナ自治区、パーティーに向かった 12 歳のアハメドくんは、兵士の誤射で脳死状態になってしまう。父親の決断で心臓を撃った敵国の少女に移植される実話。

**３学年「白旗をかかげて」**作・画　渡辺　享子

激しい沖縄戦の中、両親を失った姉弟が勇気を持って「生」への道に踏み出す。キーワードは「ぬちどぅ宝」（いのちは宝）。

**「ねこはしる」**作：工藤　直子画：保手　浜孝

内気な猫と、池にすむ小さな魚の友情を通して、生と死・いのちのつながりについて問いかける。工藤直子初めての紙芝居作品。

紙芝居を見た後、紙芝居サークルの方と保護者の方に参加していただき、グループごとに意見交換を行い「作品のテーマ」や「感想」などを話し合いました。

**中止になってしまった意見発表会**
**３年生の発表原稿を紹介します**

「ありがとう」とは　　３年Ｃ組　平井蒼大

みなさん、「ありがとう」と言われて嫌な気持ちになったという経験のある人はいますか？多分そのような人はいないと僕は信じます。なぜなら、「ありがとう」という言葉は、自分の気持ちをよくさせ、相手の気持ちをもよくさせると考えているからです。

実際に、アメリカ、マサチューセッツ州のボストン市にあるノースイースタン大学の心理学部教授、デイヴィッド・デステノ博士は、日々の暮らしの中で、感謝の気持ちを抱き続けた結果、睡眠不足が解消されるというデータを入手したと発表しています。また、アメリカ・カリフォルニア州のカリフォルニア大学デービス校、心理学部教授ロバート・エモンズ博士は、「ありがとう」と口に出して言うだけでなく、ありがたいことをしてくれた人に、心の中で、「ありがとう」と一日５回ほどお礼を言うと、心拍数が下がり、落ち着いた表情になれると発表しています。

国語辞典で「ありがとう」を調べたところ、「感謝・お礼の気持ちを表すときに用いる」と書かれてありました。つまり、「ありがとう」イコール「感謝の気持ち」と言うことができると思います。

僕はよく、舞台の終演後、観にきてくださったお客さんたちと面会をします。その時僕は、「本日は観にきてくださりありがとうございました」と必ず最後に感謝を込めて言います。すると感謝の気持ちをお伝えしたお客さんはみんな、ニッコリと笑顔になって会場を出られるため、僕も嬉しい気持ちになります。この経験からも、「ありがとう」という言葉は、自分にも相手にも利があっていいなと思います。

「ありがとう」と言われて嫌になる人間、又は怒る人間なんていないと思います。もしいるとしたら感謝が足りない人なのではないでしょうか。ただし、「ありがとう」と言う際の態度は気を付ける必要があります。感謝の気持ちを込めずに嫌そうな態度で「ありがとう」と言ったら、相手のことを怒らせてしまうでしょう。「ありがとう」と言葉だけを伝えるのではなく、「ありがとう」に感謝の気持ちを込めること、人に優しくする心を込めることが大切だと思います。

先ほど述べた通り、「ありがとう」イコール「感謝」なのです。人は感謝をすることで人と人との関わりを大切にしているとても不思議な動物です。感謝の気持ちをもって「ありがとう」と言えば、相手も自分もハッピーになれるでしょう。色々な所で、日々色々な人に感謝の気持ちをもっていれば、幸福な毎日がきっと待っていると思います。

「ら抜き言葉」　　岩見　鷹明

「今日来れる」「もう食べれない」「早く起きれない」皆さんはこのような言葉を使ったことがありませんか。

これらの言葉は「ら抜き言葉」と呼ばれる乱れた日本語です。正確には「取る」「走る」など五段動詞は「取れる」「走れる」というように「れる」をつけることで可能動詞にすることができます。しかし、カ行変格動詞「来る」や上一段動詞「起きる」下一段動詞「食べる」などの動詞で、可能を表すときには文法上可能動詞を使うことはできません。そのときは、「来ることができる」と表すか、助動詞「られる」をつけて「来られる」「起きられる」「食べられる」と表す必要があります。従って「来れる」「食べれる」「起きれる」という表現は間違っているのです。私は「ら抜き言葉」使うべきではないと考える。

ここまで述べてきて予想される反論がいくつかあります。二つ目は「伝われば良い」という考えです。確かに言葉は生き物と比喩されるように、時代とともに変化していくものです。しかし、日常から乱れた言葉を使うことに慣れていては、例えばビジネス、面接、教育などの改まった言葉づかいが求められるような場面において相手に悪い印象を持たれるでしょう。いわゆる規範意識に関わる問題です。乱れた言葉を使っているような人を採用したいですか。乱れた言葉を使っているような人に学問を教わりたいですか。私はそう考えるべきだと思います。ＮＨＫが行った調査では、約９割の国民が「日本語は乱れている」と回答したそうです。そう感じている人が多いならば、一人一人が改善することで、乱れた日本語はしだいに無くなっていくと思います。

二つ目は、助動詞「られる」を使うことで可能・尊敬・受け身などの意味での用法と区別がつきにくく、分かりにくいといった考え方です。確かに「貴方は食べられましたか」という一文だけでは、尊敬の意味なのか、苦手なものがようやく食べられたのか、鮫かなんかに食べられたのか見当がつきません。しかし、一文ではなく、文章の中や対話の中などでは文脈などで判断することができます。また、敬語についても、「先生見られましたか」を「先生ごらんになりましたか」と言い換えることで誤解はなくせると私は考えます。

最後に、「ら抜き」をすることで言いやすくなるという考え方です。一橋大学が行った調査では「見る」などの動詞語幹の短いものほどら抜きされやすいことが分かっています。確かに言いやすいと思いますし、ら抜きをしてはならない法律も毛頭ないです。しかし、前に述べたように他人からの印象が重要視される場面で乱れた言葉を使わないように日頃から気をつけるべきだと私は思います。

「大食い」はいらない　　3B　荻原　彩乃

テレビでは、毎日のように大食い番組が放送されています。それを見て、私はふと「大食い番組はなぜこんなにも人気なんだろう？果たして本当に必要なのだろうか？逆にないほうがよいのではないか？」と思いました。私がそう考えた理由は、「食べ物がもったいないから」です。

農林水産省食料産業局が発表しているデーターでは、日本では年間 6600 万トンの食料が消費され、そのうちの 27%である。1700 万トンの食料が捨てられています。また、そのうち本来食べれるのに廃棄される「食品ロス」は年間 500 から 800 万トンにものぼるとされています。世界では約８億人もの人たちが栄養不足状態にあり、その国際的な援助量は 400 万トン。つまりその３倍近くの食料が日本で捨てられている計算になります。これを聞いて、「では残さないように食べることが大切だな」と考える人が多いでしょう。いや、それも食品ロスを減らすのに必要なことです。

私は、さらに「もとから食べる量を減らせばよいのでは」と思ったのです。ですが、そのために日本人が飢えてしまうのでは本末転倒です。そこで浮かんでくるのが、「大食い番組や大食いメニューの提供を止めること」です。ある有名な大食い選手権が、後輩に助言をするとき「苦しくてもそれをぐっと我慢して食べ続けなければいけない」と言っていました。おいしいから、食べたいから食べることは否定しません。でも、この人のように無理に食べ物をお腹に詰め込むことは無意味で無駄なことだと思います。味わいもせず、苦痛を感じながらただモノを口に運ぶ作業。そんなことをしているとき、世界ではたくさんの人が食べたくても食べられず飢えに苦しみ亡くなっているのです。

また、大食い番組では当然食べきれない人たちもいます。余った食事は作られてから時間がたち何度も口をつけられているため「残りはスタッフが美味しく頂きました」なんてこともできないはずです。実際、私は大食い番組でそんなテロップが出たところを一度も見たことがありません。ということは、余った食事は捨てられてしまうのです。

この「無駄」な食料を世界の食べ物がなくて困っている人に分けてあげられたら、飢え死にしてしまう人は減ると思います。

大食い番組は人々の娯楽のために企画されています。ですが、これまで述べてきたようにその裏には食料を無駄に消費し食糧問題が進行しているという現状があると私は考えます。食糧問題を改善し、世界で飢餓状態にある人を減らすためには、大食い番組を止めること、“無駄に食料を消費することを拒否する”風潮を私たちが作り出すことがたいせつだと思います。